



### エピソード

波板の上でドングリ転がしをして遊んでいた子ども達。「トンネルをつくってほしい。」という声があり、画用紙をアーチ状に貼り付け、その隙間にドングリを通すことを楽しんでいました。

すると、偶然にも画用紙を貼り付けていた所にドングリが詰まり、そこへ転がしたドングリがどんどん並んでいきました。それに気付いた子ども達が、そっと転がして並べていくことを楽しみ始めました。ドングリが並んでいく様子を見て「どンドン、並んでるよ。」と嬉しそうでした。

片付けの前の時間、クラスみんなでこの面白い遊び方について話しました。「どれだけ並んだのかな。」と言うのでみんなで数えてみることに。するとその時点で並んでいたドングリは 27個でした。「いっぱい並んだね。」「きれいに並んでいるね。」と満足そうな子ども達でした。

### 保育者の思い

- ・ドングリが画用紙の所で詰まったことをきっかけに新たな遊びが生まれ、子ども達の発想の豊かさに驚き、このエピソードを選びました。
- ・ドングリを使って楽しみながら遊ぶことで自然物への興味をもってほしいと思いました。
- ・ドングリがどンドン並んでいく様子を見ることで数が増えていくことに気付いてほしいなと思いました。

### 子どもの育ちや学び

- ・ドングリを並べていく際に転がっていかないようにそっと並べることで力加減を調節する力を育みます。
- ・ドングリの形や転がり方を楽しみながら遊ぶことで自然への興味や関心を高めるきっかけになります。
- ・ドングリがどンドン並んでいくところを見たり、みんなで数えたりすることで数や量への興味に繋がります。

### 家庭だったら・・・

登降園の道や公園に落ちているドングリを見つけて拾ってみたり、ドングリを使ってどんな遊び方があるか考えてみると面白いかもしれませんね。

ドングリだけでなく、木の実や落ち葉などの自然物に触れたり集めたりすることで形の面白さや、触り心地など様々なことに気付けるかもしれません。

ぜひ、親子で秋の自然に触れてみてくださいね。